

木下利玄 （幼名） 歌人。明治十九年一月一日岡山縣生れ。大正十四年二月十五日歿（二八六一九二五）。本名利玄（としはる）。筆名としはる、はるきむ、利玄、小青、木、木ノ、木下、木下小青、木下里果、李青、玄、里果、雁来紅等。明治四十四年東京帝國大學文科大學國文學科卒。學生時代の二十一年歌誌『心の花』同人、四十二年雜誌『白樺』創刊同人。大正十二年『可なり』、『白光』同人。

著書、歌集『あけぼの』（合著・佐々木信綱選、明治二十九年六月）十八日修文館）、『可なり琴』（合著・同、明治四十一年四月十五日春陽堂）、『白樺の森』（合著・白樺同人、大正七年二月二十六日新潮社）、歌集『紅玉』（大正八年七月二日玄文社）、『白樺の林』（合著・白樺同人、大正八年十一月十日聚英閣）、歌集『一路』（大正十二年十一月二十五日竹柏會）、（自選）歌集『と春』（大正十四年五月五日改造社）現代代表短歌叢書）、『李青集』（大正十四年十一月二十五日福永書店）、『木下利玄全集』（大正十五年七月五日岩波書店）、『木下利玄全集』全二冊（五高茂編、歌集篇・昭和十五年二月二十五日、散文篇・八月五日弘文堂書房）、『木下利玄全集』（同、昭和二十六年八月）二十五日岩波書店、『岩波文庫』）等。

文獻、川田順著『利玄と實生』（昭和十年十一月）二十五日岩波書店）等。